

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
法人 宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 百井 英一

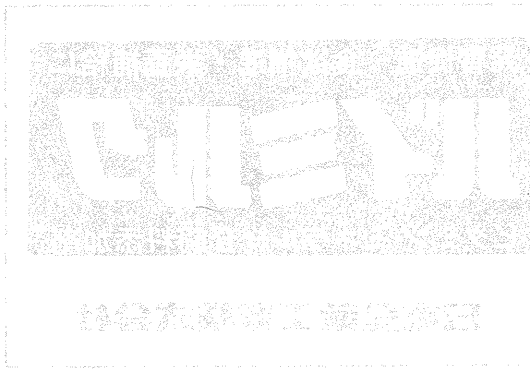
定価 1部60円

印刷所 K K東北プリント



堤人形 “しし乗り金太郎”

知事年頭あいさつ	2
会長年頭あいさつ	3
地域の土づくりを見る・高砂堆肥センター	4
乳用牛群の検定と審査	5
“養兔事業に励む迫町農協婦人部”	6
宮城県南部山間丘陵地帯における地域農業複合化のための試験研究 = 養蚕 廃糸の敷料化 =	7
肥育牛で複合経営の安定を目指す新田 一次さん	8
随 想	9
畜産物市況の展望	10
賀 春	10



“希望の芽”育てる年



宮城県知事


山本 壮一郎

明けまして、おめでとうございます。
皆様には、ご一家おそろいで新しい年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、内外の情勢まことに多端な中、本県におきましても稲作が三年続きの不作に見舞われるなど、厳しい試練にさらされた一年でした。しかしながら、明るい希望の芽といたしまして、私たちが久しく待ち望んでおりました“東北新幹線”が開業し、その効果が着実に現われておりますこと、また、若柳・金成インターチェンジ、松島有料道路の開通をはじめとする県内交通網の整備や、わが国有数の規模を誇る阿武隈大堰の完成など、県土の基盤づくりが県内各地で着々進行いたし、またこれらと軌を一にして、県民皆様方の手によります地域づくりが進展いたしておりますことと、まことにうれしく好みます。

新しい年を迎えました私たちは、いま、長びく不況からの脱却、経済の活性化、行財政の再建など、極めて大きな課題をかかえております。経済社会の変動に伴って押し寄せる危機の波…。私たちは、こうした難局をかつていくたびとなく体験いたし、そのたびにお互いが力を合わせてこれらの困難を克服してまいりました。そして、その中で、私たちは、社会の望ましい発展のためにはお互いがそれぞれの立場で何をなすべきか…を、基本に立ち返って真剣に考え、そこから困難を乗り越える知恵を身につけることができました。今年も、私たちは、県内の各地に芽生えつつある、“希望の芽”をさらに大きく育てながら、活力あふれる県土づくり、そして物心ともに豊かなふるさとづくりにお互いが力を合せてまいらなければならないと存じます。県民皆様のなご一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、県民皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、新年のごあいさついたします。

 <p>いつもフレッシュ!!</p> <h1>明治牛乳</h1> <p>明治乳業</p>	<p>発育促進・食欲増進・栄養補給に</p> <h1>バイミルック</h1> <p>ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤</p> <p>日本全葉工業株式会社</p>
---	--

年頭のごあいさつ



宮城県畜産会長
百井 英一

明けましておめでとうございます。

皆さまには、ご一家お揃いで、新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

かえりみますと昨年は、内外ともにまことに多難な年でありました。まず国内的にみますと、予想もしなかった三年続きの冷害に見舞われ、大きな損失と衝撃をうけましたが、同時に稲作にとって土づくりが、いかに重要かということを改めて教えられた年でもありました。

また、国際的には農産物の貿易摩擦が一段と深刻化した年でした。なかでも、牛肉を焦点とする米国の自由化要求が日に日に激しくなるにつれて、生産農家の間には大きな不安と動揺が起りました。

こうしたなかで畜産会は、畜産経営の健全な発展を助長するための経営診断指導を積極的に実施するとともに、畜産物の需給動向の的確な把握とその普及浸透をはかりながら、需要に見合った計画的な生産・出荷・品質の向上等を推進するための各種指導事業を、関係機関のご指導とご協力をえながら実施いたしてまいりました。

さて、昭和58年の畜産をとりまく環境は、昨年にも増して一段と厳しさが加わるものと思われます。とりわけ、未解決のまま今年にもち越された日米間の牛肉輸入問題が、いよいよ正念場を迎える大変重要な年でもあります。

しかし、もしかりに、米国の要求通りに牛肉の輸入が自由化するような事態になりますと、その影響はひとり肉用牛ばかりでなく、生産調整に苦しむ酪農にもおよび、ひいては日本の畜産の崩壊にもつながる恐れがあります。また、米をはじめとする農作物の安定的な生産を確保するための基本が土づくりにあることは、すでに冒頭でふれましたが、そのためにも、日本の牛は絶対を守る必要があると確信いたします。

同時にまた、経営体質を強化する年でもあると思います。量的拡大を急ぎ過ぎたときについたぜい肉を切り落して、真に自主性のある、創意工夫に富んだ、生産性の高い畜産経営を確立されますよう特段のご精進をご期待いたす次第であります。

畜産会といたしましても、本来の使命であります経営診断指導ならびに関連事業を通じて、地域農業の発展に努力する所存でありますので、皆さま方の変らぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

年の始めに当り、皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして新春のごあいさつといたします。

医薬品総合商社

動物用薬品、器具機材



株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社 / 仙台市木町通1丁目5番19号
電話 / 0222653151(大代表)
営業所 / 古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

くみあい専属利用登録をしましょう

＊飼料価格安定基金には全戸加入

＊畜産物価格保証制度には全量加入

—加入締切：昭和58年1月末日—



農協・宮城県経済連・全農

地域の土づくりを見る高砂堆肥センター

宮城県畜産課

3年続きの冷害に伴ない土づくりが見直されているが畜産経営環境整備事業を通じて土づくりの推進状況を把握するため家畜保健衛生所を通じてその実態を調査中であるが堆肥の水田利用事例が事他少ない状況にある。昭和52年以降畜産経営環境整備事業を通じ県内各地に概ね 200基の堆肥舎が設置されているが堆肥と米づくりの関連は有機質肥料としての重要性は認識されつつも利用が少ないことは機械化された作業体系にもその一因があるのかも知れない。それにしても堆肥利用を強力に推進すべく土づくりの実態を紹介してまいりたい。

1. 仙台市高砂地域の概況

本地区は仙台市の東部に位置し仙台湾・七北田川・名取川に囲まれ農業は稲作が基幹であるが畜産・野菜・花卉類の生産も盛んである。東部一帯の六郷・七郷・高砂地区と北東部の岩切地区の大部分が水田地帯であり、南部の名取川流域の西多賀地区と北東部の七北田川流域の岩切地区は野菜の生産地帯を形成している。

2. 地域農業の概要

(1) 農家戸数及び経営耕地面積 (単位: 戸)

専 業	兼 業			計
	一 種	二 種	小 計	
105 (2.2%)	1,387 (28.4%)	3,382 (69.4%)	4,769 (97.8%)	4,874 (100%)

(単位: ha)

経 営 耕 地 面 積						備考
田	普通畑	樹園地	牧草地	その他	計	
4,442 (80.3%)	1,030 (18.6%)	35 (0.6%)	29 (0.5%)	-	5,536 (100%)	

(2) 家畜飼養農家数及び頭羽数(単位: 戸, 頭, 羽)

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数	戸数	羽数
50	700	107	710	80	3,020	100	19,900	0	0

(3) 事業参加者の概要

区 分	戸数計	家畜飼養頭羽数(単位: 戸, 頭)					
		乳用牛		肉用牛		豚	
		戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
畜産農家	41	10	144	12	166	19	1,339
耕種農家	214						
計	255	10	144	12	166	19	1,339

区 分	肥 育 豚 頭 数	耕 作 面 積 (単 位 : ha)				
		面 積 合 計	普 通 畑	田	樹 園 地 牧 草 地	
畜産農家	2,889	74	10	44	0	20
耕種農家		150	150			
計	2,889	224	160	44	0	20

3. 事業開始の経緯

仙台市における畜産は都市化の進展に伴ない飼養環境の制約などにより、又多頭飼育の傾向も強くなり地域によっては悪息・害虫発生・水質汚濁等の公害問題で多頭飼育者は家畜排泄物の処理に苦慮していた。一方耕種農家側から良質堆肥入手のため堆肥センター設置による堆肥の安定供給を要望する声が強くなり仙台市農協が事業主体となって本事業を実施した。

4. 主要施設等の投資状況

堆肥生産施設1棟・コンポストマシン1台・機械格納庫1棟・製品貯蔵施設1棟・ショベルローダー2台・堆肥ミキサー2台・バキュームカー(2t)1台・ダンプトラック(2t)2台を昭和54年・55年の2ヶ年間に亘り畜産複合地域環境対策事業により総事業費72,035千円で実施した。

5. ふん尿処理の概要等

畜舎から排出された敷糞とふんの混合物を堆肥センターへ搬入し、搬入されたふんをコンポストマシンで切返ししながら幅1.5m、高さ1.5m、長さ適当に堆肥畦を作り、これを定期的に5~7回切り返しを行い、堆肥の発酵を促進させる。一方畜舎から排出される尿はバキューム等により汲み上げて水分調整のためコンポストパイルへ切返し作業の時にふりかけて混入させる。なお製品はバラでt当り6,000円(非組合員7,500円)で販売し現地まで運搬している。現在、製品は引き合いが多く生産が需要に追いつかない状態で生産量を増やしかつ生産コストを下げるため処理量を増やす方法として当初計画のように1.5×1.5mの堆肥畦をつくらず2mの高さの山として、コンポストマシンの他に自走式ローダーを併用して切り返しを行う方法が試行されている。

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8


東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 73330・73338・73339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼菰洗1
02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24
0236 (23) 9909・9900

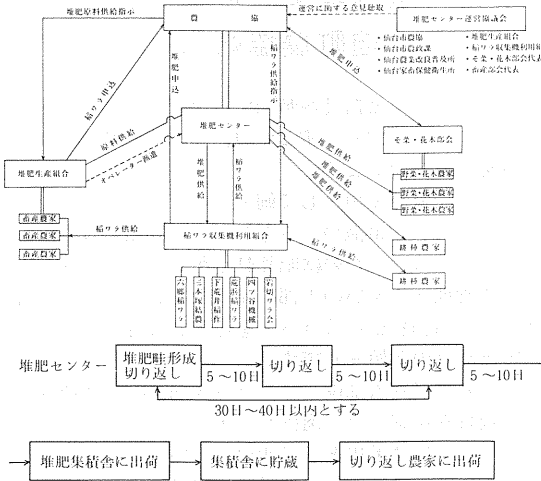
古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28
02293 (4) 2018-9



WORLD CHAMPION
サンシャイン

株式会社 **五十嵐商会**
仙台市卸町五丁目1番地4
電話(0222)96-2525(代表)

6. 高砂堆肥センター運営組織図



7. 所見

耕種農家で生産が困難となった堆肥を畜産農家が代って家畜ふん尿を堆肥化し耕種農家に提供すると同時に農産副産物を積極的に家畜の飼料として利用し農業の地域複合経営推進のため農協がその中心となり処理、利用を促進して来たが経営収支よりも農業・畜産振興の立場にたつて本事業を推進している。現在センターで生産される堆肥はひっぱりだこの状態で、地域農業の振興に大きく貢献しているものと思われる。

(畜産環境整備係 我妻)

“加美グリーンで豊かな土づくり”を

(製品届出番号-宮城県第731号)

名称 加美グリーン
 成分内容 本品は鶏糞等を高温度発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壌pH8.6が保たれますので土壌改良資剤として最適です。(水分30% N 2.60% - P 6.18% - K 3.19%)
 包装 1袋15kg(バラ販売可)で米状のため機械散布可能。
 単価 300円/袋(卸売270円) バラ1t 17,000円
 製造販売元 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70) (TEL 02296(5)-4336)

乳用牛群の検定と審査

宮城県ホルスタイン協会

乳牛改良の一環として登録や検定事業が行われているが近年の牛乳の計画生産、貿易の自由化攻勢の厳しい情勢の下では可能な限り生産コストの軽減を図ることは云うまでもない。それと同時に乳牛改良も、より効果的に進度を早めることが急務となって来た。従来雌の改良は優秀な個体の選抜に重点を置き、牛群としての生産性向上には概して指導性に乏しく専ら酪農家自身の判断と努力に俟つことであった。

昭和49年度に初めて全国的に国による牛群検定事業(乳用牛群改良推進事業)が実施され、本県に於ても栗原・登米・本吉地域を一円とする第1牛群改良組合を設立しこの事業がスタートしたのである。更に昭和54年2月大崎地域を範囲とした第2組合が発足し、この2つの組合で検定農家は126戸、検定牛は1,746頭(57.10現在)で県北一円ではあるが県内の経産牛飼養戸数の3.1%、経産牛頭数の5.5%に過ぎない。別表に示す通り北海道は勿論のこと府県の比率に比しても本県の実施率は非常に低い。

乳用牛群改良推進事業状況 57.10.31現在

	経産牛頭数	成牛戸数	1戸当り経産牛頭数	検定組合
宮城県	31,500	4,120	7.6	2
府県計	891,780	72,340	12.3	145
北海道	420,000	17,900	23.5	93
合計	1,312,000	90,200	14.5	238

検定牛頭数	検定農家数	検定農家比率	検定牛比率
1,746	126	3.1	5.5
138,366	7,819	10.8	15.5
238,631	8,355	46.7	56.8
376,997	16,174	17.9	28.7

この事業の実施当初は酪農家自身の経営改善の上から大事な事業にも不拘、下から必要上盛り上ったものでないのと認識の不足からその成果は振わず人ごとの

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
 東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
 電話 0222-95-5517・5511

牧場用柵には 強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株式会社
 仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053
 販売元 塚本商事機械株式会社
 仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
 代理店 本山振興株式会社
 仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

感が強かった。然し遂次事業が滲透するにつれ理解が深まり第2組合の設立となり更に本年10月仙台周辺と仙南地域の酪農家より強い要望があって泉南乳用牛群改良組合が第3組合として発足したのである。この組合の戸数は118戸、検定予定頭数2,038頭と前2組合を凌ぐ盛り様で検定事業に対する認識が高まった事は酪農の安定経営の上から誠に喜ばしい次第である。然しこの事業も10ヶ年継続の最終年度は58年度であることから来年一杯で一応終結することになっているが酪農振興上次期継続されるものと信ずる。然し昨今の国の財政事情から受益者の負担増は必至であり、又検定牛の急増に伴い検体輸送や牛乳の検査態勢の整備が早急になさねばならない。これ等の酪農家負担は少なくないので何分県当局の予算的御配慮を願うものであり、更に関係機関の御指導と御支援を切にお願いする次第である。

このような実情を踏えて、貴重な経費と労力を費やす事業なるが故に、酪農家の一層の自覚と、より正確なる資料の提示が即、改善を早めることであり、又検定成績は充分経営の改善に活用しなければならない、更に検定指導員の適切なる御指導を得て初めてこの検定事業の目的が達成されるのである。

一方牛群検定事業と呼応して高等登録審査が行われているが、この高等登録制度は乳牛の能力証明の手段として今日まで改良に貢献して来た、然し経営の変化に伴い即応しない面も生じ、近年は徒らに個体の体格得点のみに執心し登録本来の目的から逸脱して改良の効果が薄れつつあり、日本ホルスタイン登録協会で検討を重ねて来たところ今回高等登録を58年度限り廃止し59年度より牛群審査に移行することになった。現在牛群審査の試験実施を10数県で行っている。本県も来年1月より試験実施するが10戸、150頭以上が差当り予定されている。制度の細部については当協会、支所、登録委員にお尋ね願いたい。

今後牛群の検定と審査の両建てにより選抜と淘汰が一層効果的に推進され確固たる経営基盤が確立されることを期待するものである。

(堀江)

“養兔事業に励む 迫町農協婦人部”

冬になりますと白鳥が飛来する伊豆沼。町の観光地の1つにもしておりますこの地、登米郡迫町のうさぎ飼育を紹介いたします。

うさぎを愛がん用として飼っていたのはかなり以前からあったが、組織づくりをしながら販売を目的に飼育するようになったのは昭和41年から。老人・婦女子の健康管理・小使いの1部にするため、気がるに飼育出来る小動物としてうさぎを選び、合併前の新田農協で勧めたのが始まりです。

当時の農協婦人部役員で、うさぎ飼育の先進地群馬県の板倉を視察した。肉はハム・ソーセージのつなぎ肉として、皮は毛皮として活用しているという話だった。これらを参考に色々検討した結果さっそく部会を組織、その夏役員と希望者で種うさぎを群馬県から導入しました。

41年は86人で320羽を導入、翌年から45年まで続けて毎年150羽づつ導入たちまちうさぎ飼育の基盤を確立しました。

しかしこの頃の販売は先進地と同じく、肉と毛皮出荷が主力で町内の肉店・福島へ年に1回出荷という状況だった。つまり肉としての出荷は生体重で3キロ以上という事から、1年間飼育して仕上げた。さらに価格もキロ当り130円と安く、農協で30円助成した。

生産は順調になったものの販路不足、特に夏場の厳しいのが当時の問題でした。

それでも44年に農協が合併したのを機に、佐沼・北方にも飼育者が拡大、45年には部員数も104人と多くなり、2,180羽を出荷した。出荷の半分は肉用だった。

この後販路を色々研究した結果、46年から医学実験用に出荷を統一する事が出来た。

およそこうした経過で現在に至り、迫町農協養兔部会(及川とよみ部長)として活動しております。

現在の部員数(飼育者数)は30人で、飼養頭数は200羽。部員は町内13集落にわたっておりますが、こ

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンズ

マイティシリーズ
スララーポンプ
チョッパーポンプ
ノンフロポンプ
ヒドロススリン

マイティ
65日型

ヒドロポンズ 発売元

株式会社 東北加藤

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL.0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
Mr. 3000 牧草梱包
Mr. 2000 稲わら梱包

THB 2000

スター農機株式会社

仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

れを7支部に編成本部事業の補完として支部活動も行って

ています。本部の事業は①講習会の開催②研修会の開催③支部講習会の開催等です。講習会は6月と1月に2回開き、つゆ時の管理、寒さに対する管理の統一を図ります。

研修会は全部員を対象にしたものと、役員によるのとがあり、出荷先訪問等の先進地視察を内容としております。支部講習会は、本部で開く部員講習会の伝達をかねながら、各部員の管理状況を検討する場、年間出荷計画の達成状況話し合うこととしております。

57年度の出荷頭数は1,750羽を計画しておりましたが、1,400羽位に終る見込です。

計画未達成なのは販路不足があげられますが、この他、今年特に多かったのが野犬の被害があります。子うさぎが多くなる6、7月と11月に雨か強風の深夜をねらって野犬の被害があり、合せて6人が150羽もかみ殺されている。中には2回も被害を受けた人がおり、多い人で94羽もの被害を受けている。

今この部会が皆んなで決めている統一した管理のポイントは①種うさぎを定期的に導入して近親交配をさける。②飼養管理の徹底で育成率の向上を図る。③野乾草の給与に心がける等です。

これからの目標として「品種の特性をそなえた、質の良いうさぎづくりをしていくことです」と及川部長さんは話しております。

老人・婦女子の健康管理、さらに小使いの一部として始った迫町のうさぎ飼育、飼養規模は小さくなっているものの、宮城県が推めるふるさと農業にそいこれからも長く長く続くものと思われま

す。(迫町農協畜産課長 伊藤 勲)

川柳

“最低”

畜産課 山木たみ

舌うちをする女房の腰重い
麻雀も週休子供の馬となる

〈畜試便り〉

宮城県南部山間丘陵地帯における
地域農業複合化のための試験研究
＝養蚕廃条の敷料化＝

佐藤 島夫

1. ねらい

廃条の有効利用を推進するため、家畜の敷料としての利用並びに堆肥化について検討し、普及に資する。

2. 試験方法

(1)廃条の敷料化；供試材料は春蚕期廃条(水分52.4%)を用い、屋外で30日間自然乾燥(水分27.5%)後、廃条カッターにて10mm以内に細断し、肉用繁殖牛に14日間踏込ませた。敷料は開始当初約100kgを投入し、その後汚染の都度補給し、360kgを用いた。

(2)廃条敷料の堆肥化；水分76%の廃条厩肥を0.5㎡の木製枠に無処理区310kg、切返し区305kgを積込み、その堆積物をビニールシートで被覆し、73日間調査を行った。切返しは堆積後30日目に行ない、その時水を両区に50kgづつ追加散水した。

3. 成績の概要

(1)廃条の敷料化

予備調査では廃条の水分が47%で牛房が汚染し易く、かつ肢蹄に附着し歩様に多少の支障を及ぼすことが観察され、本調査では牛房の汚染等は認められず30%以内の水分であれば十分利用でき、オガクズの代替として価値のあることが推察された。しかし酷暑時の長期間の踏込みは敷料が発酵し易く、発酵熱による室温が高まり、牛体に対する環境悪化が懸念され、踏込み期間の短縮等に配慮を要するものと思われた。

(2)廃条厩肥の堆肥化

1)発酵温度；図1に示すとおり、堆積後5日目で76

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

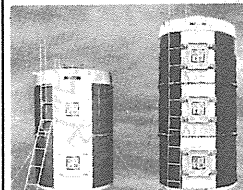
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 02292 (3)8888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養に是非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

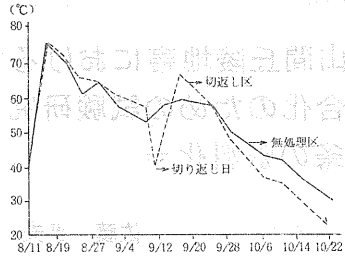
OSM-10 10㎡

OSM-15 15㎡

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

図1 経過日数による発酵温度



℃の最高温に達し、以後切返し日まで下降曲線を示し、区間に顕著な差は認められなかった。切返し区は切返し後において再度67℃の高温を示し、以後急速に下降し、無処理区は30日目頃より二次発酵の徴候が若干みられる傾向にあった。

2)腐熟による重量、容積、水分、固形物の減少率；表1のとおり、無処理区は水分、重量において減少率が多く、容積、固形物では切返し区が多かった。

3)腐熟の観察状態；無処理区は中、下層部においてカビの発生が著しく、水分不足により一部灰化し、色

表1 腐熟による重量、容積、水分、固形物の減少率並びに色調

項目	堆積重量(kg)		堆積高さ(cm)		重量
	開始時	終了時	開始時	終了時	
無処理区	310	168	90	73	45.8
切返し区	305	185	90	68	39.3

腐熟による減少率(%)			色調	
容積	水分	固形物	(終了時)	
18.9	55.1	16.4	10YR5/2	
24.4	41.8	27.3	10YR3/2	

調も10YR5/2(黄褐灰色)で未熟なものが観察された。切返し区は各部位とも水分がほぼ均一に浸透し、10YR3/2(黒褐色)で堆肥臭を呈し、上層部から中層部にかけてミミズの生息が観察され腐熟が進んだものと推察された。

4) 厩条堆肥の化学組成；表2の如く、水分では切返し区は保水力が高く、無処理区は低いことが認められ、pHでは切返し区が弱アルカリ性で発酵が促進され、無処理区は停滞気味の傾向がみられた。C/N比についても同様な傾向にあった。肥料三要素では明らかな差は認められなかった。

表2 厩条堆肥の化学組成 (乾物中：%)

項目	水分	pH	炭素(C)	窒素(N)	C/N	磷酸(P ₂ O ₅)	加里(K ₂ O)
無処理区	63.3	9.24	41.78	1.13	36.97	0.18	1.85
切返し区	72.6	8.23	32.16	1.09	29.50	0.19	1.56

4. まとめ

厩条の敷料化は水分30%以内であれば十分利用でき、オガクズの代替として価値のあることが認められた。堆肥については切返し区は無処理区に比較し水分が均一に浸透し、色調も黒褐色で堆肥臭を呈し、ミミズの生息が観察され、pHやC/N比においても低く、腐熟が促進されたものと推察された。肥料成分では両区に明らかな差は認められなかった。

(研究第三部畜産公害科)

肥育牛で複合経営の安定を目指す新田一次さん



泉市根白石で、水田+肉牛の複合経営をして、着実に前進している新田一次さんを紹介します。

家族	経営規模
本人 50才	(耕地面積)
妻 50才	水田 2ha
長男 31才	普通畑 2a
長男の妻 28才	飼料畑 20a
祖父 80才	(肥育牛)
祖母 74才	乳雄 90頭
孫 6才	黒和 10頭
孫 5才	(繁殖牛)
	黒和 3頭

新田さんが、肥育を始めたのは、昭和54年からで、ベテランとは言えません。以前は約30年間、伐木造材士の免許者で、主として、営林署関係の仕事をしてきた。しかし、氏は青年時代から「牛」による自立を計画して、資本の蓄積に努め、又、周辺の畜産農家の実態を見つめ続け、自分の力に相応した規模等を模索していた。そして、伐採と農業と肥育の併立は不可能と

飼い上手 育て上手は……
みのに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL494306
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL494306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL240963
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

さわやかに 健やかに

おいしさいっぱい牛乳で
今日もいきいき

森永ハイグランド牛乳

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目3番27号
☎(02238) 4-5181

判断し、伐採作業はやめることにした。勿論、家族にはその理由を説明し、十分に納得せしめた。伐採作業は、収入が安定しているが、肉体は老化する一方なので、収入は漸減するとの判断であった。むしろ、相場の変動によって、大きく収入が左右される牛の肥育こそが熟年に達した自分には向いていると思った。その年は畜舎の建設にあてた。畜舎構造は、地型を余りいじらず整地代を節約した。一見不合理に見えるが、牛の出入、給飼給水等は十分に配慮してある。材料は古電柱が殆んどで、その裁断・整板作業は氏自身がプロであり、土台・組立・建築等作業は全て家族だけで実行し、112坪の牛舎を、約3ヶ月で完了した。肉用牛の導入は、昭和55年からで、最重視したのは粗飼料の確保であった。経営努力配分して「稲ワラ」以外は無理と判断し、堆肥との交換を原則として、他町村にも足を伸ばし、現有頭数以上の稲ワラの確保に当たったが、これが翌昭和56年の増頭の土台となった。肥育技術については、10年位前から学習しており、各種の研修会にも黙々と参加していた。昭和56・57年の2年間に受賞した実績が証明している。

県単位共進会では、チャンピオン3回、最優秀賞4回、優秀賞4回。地域共進会では、最優秀賞1回、優秀賞2回と、全く信じられない成績を挙げている。

昭和57年11月現在で、1月から45頭を出荷しており、平均1頭当り56万円、購入飼料代平均27万円、素牛代平均16万円。厳密な経営点検は未だしたことはないが、昭和56年に再び140坪の牛舎を建設したが、その自信の程がうかがわれる。

また、氏は黒和牛を現在13頭飼育しているが、内3頭は繁殖用めす牛で、黒和肥育用素牛は全て自家産の雄牛である。雌牛が生れたら自家保留牛として、黒和素牛確保源としている。

最後に氏との一問一答

Q：あなたのモットーは？

A：今日できることは、必ず今日やることです。

Q：今後の経営の方針は？

A：家族の健康と協力が、現在の私を支えている。家族労働の合理化と、生活を楽しむ余暇の充実

です。内容的には、頭数は資力・労力的に限界があるので、平凡ですが、肉質の向上に全力をつくします。資質の良否を鑑別する技術・合理的な給餌の方法・生体ストレスを解消する衛生対策の強化。この3本柱で益々研鑽するつもりであります。

(仙台家畜保健衛生所 岡崎稔)



地域のパイオニア岩島産業

水稲に次ぐ作目として、年々そのウェイトが高まる畜産も公害問題が取りざたされる昨今、創意工夫と独創的な発想で、飼養家畜の糞尿全量を堆肥化し、公害防止と資源活用に努める企業が昭和47年、金成町内に進出している。幸い、宮城ふるさと農業まつりの協力要請等で9月中ば見聞の機会を得た。

農場間近な路上から眺める景観は工業団地かと錯覚した。総面積65haの用地に30万羽収容の鶏舎群、事務所、GPセンター、社宅等が山頂に、種豚、肉豚5千頭収容の豚舎群、堆肥化施設が南面傾斜地に整然とたち並び、その周辺に野菜畑が拓け、緑が一段と鮮やかに映る。従業員総数170名、役員数名以外は地元町民が大部分で、年間鶏卵5千t、肉豚8千頭を生産する地場産業的畜産農場である。

糞尿の堆肥化は、飼養開始3年目の昭和50年約1億を投じ、堆肥舎を主体にプラント工場5千㎡を施設し、排泄される糞尿60tを毎日採集する。さらに広葉樹皮を細粉し40%をまぜあわせ堆肥舎に集積して6ヶ月間熟成させた後、ふるいにかけ袋詰め(20kg)する。この工程を10名の従業員で年間45万袋(9千t)生産し、有機活性肥料「ハイコンユーキ」の商品名で、その80%を東北各県の農協等に販売している。

場内には進出当時の雑林地も現存する。その未利用地の1部を開畑(14ha)し、肥沃な土づくりによる野菜作りを計画している。

この実践にさきがけて、本年試作畑3haを造成しカブ・白菜・キャベツが作付されたが、素人の栽培とは思えぬ見事なできばえで、漬物に加工して出荷してい

飼料は のり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171-4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事
さく井工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

るが、1部市場に出荷の生鮮白菜は、市場高値の20～50%増値で引き合いが多いとか、腐熟堆肥の多施用(反当10t)が、黄褐色の作土を熟畑に優る活性土壌にかえたカブ・白菜の成長をみて、あらためて土づくりの大切さを痛感した。

この創意工夫と発想のすばらしい模索は、老朽鶏舎の豚舎転用、省力的無公害敷料の試用等、場内随所にたゆまぬ努力のあとが見聞できる、「自然や土地と遊離した畜産に発展は望めない」社長の信条に敬意を表し、益々の発展を心から祈るものである。

(築館家畜保健衛生所長 庄子己代治)

畜産物市況の展望

豚肉 農水省の予測による1月の全国肉豚出荷頭数は1,477千頭(前年同月比103%)で、68.7千頭/日となる。

一方、輸入豚肉の12月通関は7～8千tペース思われる。デンマークの輸入解禁については58年2～3月頃の解禁が有力視される。

消費は、正月明けの不要期を迎え売れ行きの停滞は避けられない見通しである。

12月末の売れ行きと越年在庫量によって市況も変わるが、「上」基準630円中心の相場推移か。

牛肉 12月の出荷量は、和牛55千頭前後(前年比105%)乳用牛(去)48千頭前後(同95%)と相当多いが、中旬現在、相場は堅調な推移となっている。

1月の出荷頭数は、和牛27.5千頭(同104%)乳用牛(去)33千頭(同95%)前後と予測される。一方、

輸入牛肉の下期割当が65千t(同110.5%)と発表された。

1月の消費は、暖冬が続けば需要減退が心配され、一段安の市況展開が予測される。和牛(去)「上」2,200円、「中」1,850円、乳用牛(去)1,350円中心の動きか。

食鶏 年末の最需要期から一転して不要期を迎えるが、各産地の処理場も中旬頃から一斉稼働するため、今年も値下がりが心配である。輸入も円高傾向へ移行すると米国のレッグ類が増加し1～3月間6千t/月前後となろう。と体大型で280円、正肉650円程度までの値下りか。

鶏卵 出荷量増大から価格低迷の続いている鶏卵相場は、年末止市後、初市までの滞賃を考えると、年明け後の暴落が予想される。

初市価格は、230円～240円程度からのスタートが予測され、後半寒さによる産卵率低下の影響等を計算に入れば若干の回復が期待される。

飼料 米国におけるとうもろこし、大豆粕が大豊作で相場は低位にあり、今春の作付とソ連の輸入動向にもよるが現状相場維持程度が予想されるが、マイロは不作のため高騰している。

配合飼料の価格見通しは全農が1～6月据置きを決定したが、商系は1月以降どの程度の値下げを実施し系統との建値格差を圧縮するか注目している。

(注) 全農・専門農協連が10月以降t当たり4,000円の値下げを実施し、商系は据置きとしていた。

(宮城県経済連食肉養鶏課 桜井) 飼料課 石井)

賀 春



- 宮城県農業協同組合中央会長 木村 秀 寿
- 宮城県経済農業協同組合連合会長 佐藤 鉄 山
- 宮城県信用農業協同組合連合会長 佐藤 永 作
- 宮城県畜産農業協同組合連合会長 大石 武 一
- 宮城県農業共済組合連合会長 佐々木源左エ門
- 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長 米倉 春 雄
- 宮城県農業公社理事長 高橋 元三郎
- 宮城県綿羊農業協同組合連合会長 菅原 忠 実
- 宮城県草地協会会長 二瓶 泰 助
- 宮城県獣医師会長 鈴木 新
- 宮城県酪農協会会長 半沢 善 作
- 宮城県ホルスタイン協会会長 佐藤 利 吉
- 日本軽種馬協会宮城県支部長 大石 武 一
- 日本種豚登録協会宮城県支部長 千葉 清 治

- 日本あか牛登録協会宮城県支部長 佐藤 鉄 山
- 全国和牛登録協会宮城県支部長 佐藤 利 吉
- 宮城県肉用牛協会会長 百井 英 一
- 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長 横山 崇
- 宮城県乳業協会会長 佐藤 利 吉
- 宮城県家畜商協同組合会長 大石 武 一
- 宮城県養鶏協会会長 岩谷 寿 夫
- 宮城県ホルスタイン改良同志会長 鈴木 正太郎
- 宮城県家畜人工受精師会長 遠藤 真 治
- 宮城県肉用牛価格安定基金協会会長 萱場 喜代志
- 宮城県畜産物価格安定基金協会会長 佐藤 鉄 山
- 宮城県養豚改良協会会長 佐藤 鉄 山
- 宮城県畜産会長 百井 英 一

(順不同)